

## 「今、アートで何が起きているのか」



PHOTO: 名和真紀子

茨城県北芸術祭総合ディレクター

南條史生

参加アーティスト

福原志保



茨城県北芸術祭と今注目のアートをご紹介します。

来年秋に開催予定の「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」のプレ企画として、芸術祭の会場である高萩市・穂積家住宅にて、アートトークを開催します。

総合ディレクターの南條史生氏と、科学、アート、デザインの領域を超えた活動を続けている参加予定作家の福原志保さん(BCL)が芸術祭への意気込みや、自身の活動・作品について語ります。

※他の参加アーティストがゲストで加わる可能性もあります。

穂積家住宅では、今年も10月10日～11月29日まで高萩市が主催となり、高萩市商工会と地元の「有限会社五浦ハム」のご協力により、地域の食材を活用したレストラン「高萩『萩の茶屋』」を開設しています。芸術の秋に贅沢なティータイムをゆっくり堪能ください。

日時：平成27年10月18日(日)

14:30 開場

15:00～16:30 トークイベント

料金：500円(限定30名、電話・Eメールにて要事前予約)

※コーヒー・ケーキ付き

会場：茨城県指定文化財 穂積家住宅

(高萩市上手綱 2337-1)

**南條史生**

森美術館館長(2006-)。慶應義塾大学経済学部(1972)、同文学部哲学科美学美術史専攻(1976)卒業。国際交流基金(1978-1986)、I C A ナゴヤ・ディレクター(1986-1990)、エヌ・アンド・エー(株)代表(1990-2002、2014-)。ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館コミッショナー(1997)、台北ビエンナーレコミッショナー(1998)、横浜トリエンナーレ2001アーティストック・ディレクター(2001)、シンガポール・ビエンナーレアーティストック・ディレクター(2006、2008)などを歴任。茨城県との関わりとして、アークプロジェクト・アドバイザー(1995-)、県北アートフェスティバル研究会委員(2014)。

**福原志保(BCL)**

BCLは、サイエンス、アート、デザインの領域を超えたコラボレーションを行うアーティストック・リサーチ・フレームワーク。2004年にGeorg Tremmel(ゲオアグ・トレメル)と福原志保によってイギリスにて立ち上げられた。2007年に活動拠点を東京に移し、NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]やアルスエレクトロニカなどの国内外のミュージアムやギャラリーでの展示やコラボレーションを行う。特に、バイオテクノロジーの発展が与える社会へのインパクトや、水環境問題について焦点を当てている。また、それらにクリティカルに介し、閉ざされたテクノロジーを人々に開いていくことをミッションとしている。

主催：茨城県北芸術祭実行委員会 特別協力：高萩市

お問い合わせ・ご予約：茨城県県北振興課 029-301-2727(平日9:00～17:00)

(お名前・人数・連絡先をお知らせください) 高萩市企画部企画広報課 0293-23-2118(平日9:00～17:00)

event@kenpoku-art.jp(件名を「10月18日アートトーク」としてお申し込みください)